

2. 整備事業

(福島県 平成28年度)

市町村名	事業実施主体名	メニュー (対象作物・畜種等名)①	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
				被災前22年度	1年後(平成25年)	2年後(平成26年)	3年後(平成27年)	目標値(平成27年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他				
石川町	福島県酪農業協同組合	乳牛	緊急的な雌牛増頭に取り組んでおり、雌子牛の預託の需要が増加している。現状300頭/年の預託から、目標値を600頭/年まで預託頭数を増加させる。	子牛預託受入頭数：300頭	345頭	406頭	429頭	600頭	72%	雌子牛の預託頭数は震災前345頭よりも84頭増加したが計画600頭には未達であった。	畜産物共同利用施設整備(家畜飼養管理施設) 哺育牛舎 432㎡ 自動哺乳システム一式	23,446,500	10,939,000	7,110,000	0	5,397,500	H26.3.31	計画未達の要因として、肉用素牛価格が高値安定し乳用雌子牛が増えないことが大きかった。今後も組合員に対して乳用後継牛確保の推進を図りながら、雌子牛生産を増やし預託頭数確保を図り、事業の安定経営を進めていく。	配合飼料の価格高騰の影響で平成26年度以降経営がひっ迫している。預託料金の値上げ、配合飼料購入価格の見直しのほか、受入頭数の増加による運営改善をより一層図るよう、黒字経営への転換に向けて助言指導していきたい。	

- (注) 1 別紙様式1号の2のIに準じて作成すること。  
 2 要領第1の1の(2)のアの(ア)から(ウ)の場合にあつては、事業実施後の状況の欄を追加し、記入すること。  
 3 別添として、各事業実施主体が作成した事業実施状況報告書を添付すること。  
 4 「事業実施主体の評価」欄と、「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。  
 5 「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。  
 6 「都道府県平均達成率」欄は、都道府県において事業実施地区で掲げている成果目標毎の達成率の平均値とする。